

# Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas

## について

ポルトガル装飾芸術学校博物館 (Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas)

銀行家で美術品の収集家でもあったリカルド・エスピリト・サント・シルヴァは、1953年にその貴重な美術品コレクションの一部を国に寄贈しました。その多大な寄贈物のひとつにアズラーラ宮 (Palácio Azurara) がありました。これは18世紀につくられた美しい建物で、リスボンの古い街並みを残す地区の中でも特に美しい場所であるポルタス・ド・ソル広場 (Largo das Portas do Sol) の近くに 있습니다。

アズラーラ宮の各部屋には真の名品が数多く飾られており、18世紀のポルトガル貴族の館の優雅な雰囲気にひたることができます。ポルトガルでも有数の貴重な家具のコレクションがあり、ポルトガルと遠方の国々との出会いを象徴する品々を含む、16世紀から19世紀の家具が展示されています。

装飾品の中には、最高品質のアライオロス (Arraiolos) のじゅうたん、東洋の影響を受けたキルトや刺繍、ポルトガル人画家やポルトガルに滞在した外国人画家の絵画、この博物館の創設者が収集した金銀器の貴重なコレクション (16~19世紀に民間人が使用していたポルトガル製銀器のセットなど)、陶磁器やガラス製品があります。デッサン、版画、装丁本、時計といった、小さいながら価値のある品々もさまざまな部屋に配置されており、実際に人が住んでいるかのような雰囲気を高めています。

ポルトガルにおける装飾芸術の研究や学習を促進し、一流の専門訓練を推進していくために、財団では装飾芸術高等学校 (Escola Superior de Artes Decorativas) と美術・工芸研究所 (Instituto de Artes e Ofícios) を運営しています。博物館では、木工品、装飾絵画、彫刻、版画、装丁、めっき、アライオロスのじゅうたんなどに関する伝統技能を学ぶ、さまざまなワークショップが開かれています。世界各地で行ってきた数々の仕事の中でも、ヴェルサイユ宮殿にある火事で焼けたデュバリー婦人の図書室の復元は特に大きな成果といえるでしょう。

## 問い合わせ先

Largo das Portas do Sol 2 1100-411 Lisboa

電話 : (+351) 21 881 46 40 | (+351) 21 881 46 00

Eメール: [museu@fress.pt](mailto:museu@fress.pt)

ウェブサイト: <https://www.fress.pt/museu/um-projeto-original/>

## 特色とサービス

ショップ  
ガイドツアー  
カフェテリア  
レストラン

## バリアフリー案内

### 支払い

クレジットカード利用可

トラベラーズチェック利用可

## その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。